

【目次】

1.アーカイブ No.38

連載「日本労働会館物語」第35回

＜惟一館図書室で誕生した友愛会＞

2. 02/16(月)～18(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・第 2 期「正道塾」②
17 名

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1. アーカイブ No.38

連載「日本労働会館物語」第35回 2012.02.27 発行の第46号に掲載

＜惟一館図書室で誕生した友愛会＞

友愛会は 2012 年 8 月 1 日で創立 100 周年を迎えます。これを記念し建て替えられた友愛会館(16 階建地下 2 階・竣工式 1 月 27 日)の敷地内に、「日本労働運動発祥之地」の石碑が建っています。しかし、友愛会が日本で最も古い歴史を誇る労働組合という訳ではありません。

明治維新以後の近代資本主義勃興の中で、賃金労働者の結集体である労働組合も自然発生的に誕生しています。しかし、目的意識をもって組織され、それ故に日本労働運動の曙とされるのは、明治 30 年に設立された労働組合期成会と、その指導下に組織されたいくつかの労働組合です。しかし、労働組合期成会はその名称が示すように「期成の会」であり、労働組合そのものではありません。また、明治政府の過酷な弾圧もあり、結成後数年にして解散に追い込まれてしまい、その運動が継承されることはありませんでした。

このため現在の連合に繋がる労働運動の源流とされているのが、友愛会です。いわば労働組合期成会は「日本労働運動の曙」であり、友愛会は「日本労働運動の源流」なのです。

友愛会結成については創立者である鈴木文治の自伝『労働運動 20 年』、また大河内一男氏の『暗い谷間の労働運動』、吉田千代氏の『評伝鈴木文治』、芳賀清明氏の『鈴木文治のいる風景—日本労働運動の源流をつくった男』などで紹介されています。それ故、ここで友愛会結成について詳述することはせず、ただ友愛会が創立された惟一館(現在の友愛会館)について記述いたします。

惟一館の牧師クレイ・マッコレーイは、「惟一館献堂式全体報告・惟一館建設に当たって」(明治 27 年 3 月)の中で「我々の建物は、建坪およそ 75 フィート×50

フィートで、二階建てである。考案された建築様式は、和洋折衷様式で、国産の木を使用した質実剛健な造りで、防火設備があり、明るい図書室、また特に立派な読書室がある。詳細を見ると、我々の企画では 1 階部分の、入り口の左側が我々使節団に与えられ、程よい広さの応接室、日本ユニテリアン協会事務局のためのオフィス、神学校の学生のための休憩室、管理人の住居、そして我々の出版物その他教材用の物置がある。入り口の右側は、雑誌用及び郵便活動のオフィス、先進学院校長の部屋、そして既に述べた防火設備のある図書室と読書室である。2 階には広く明るい階段が続き、先進学院の教室が五つ、礼拝や卒業式、講義、その他の催しの際に、300 人以上が座れる集会場がある。この集会場は快適な部屋で、50 フィート×30 フィートの広さがあり、天井まで吹き抜けで、出口も多くあり、大きなドアを開いて隣の部屋とつなげて広く使うことも出来る。全体的に、この新しいホールは我々の 3 部門の使用に見事に適合しており、上品で魅力的、しかしシンプルで上等な建物の良い例と言える」と記述しています。友愛会はこの唯一館図書室で、明治天皇崩御三日後の大正元年 8 月 1 日に創立され、鈴木文治の机を本部としスタートしました。それは明治の労働運動とは異なる人たちによる船出でした。

2. 02/16(月)～18(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・ 第 2 期「正道塾」② 17 名

労働組合の組織の強化を目的に、人材育成の一助として、運動家としての人間性と品格を高め、労働運動の精神を正しく継承できるリーダーを育成するためです。年間、二泊三日を 4 回にわたり、14 講義、16 演習、11 視察から学びます。「歴史は未来の鏡である」「過去は変えれないけれど、未来は変える(創る)ことができる」という様に、①日本労働運動の 100 年余の歴史 ②流通労働運動の歴史と今後の課題～政策と政治課題～ ③民主的労働運動を探る・労組の役割と責任 ④労働組合が政治・選挙に取り組む理由 ⑤次代の流通労働運動が抱える課題とその対処法 ⑥生産性運動三原則 ⑦コーポレートガバナンス(企業統治) ⑧リーダーの条件とは何か～リーダーに今求められているもの～ ⑨流通産業の動向と労使の政策課題 ⑩政治・選挙 労働組合の必須項目 等を受講します。

第 2 回目は、日本労働会館の友愛労働歴史館にて開催。常設展示の「日本労働運動の 100 年余」を藤吉塾長(館長)から受講。その後、「民社党の歴史・百折不撓」の DVD を視聴し、「民社の考え」を受講。二日目は、「憲政記念館」・「国会の視察」、靖国神社の参拝と遊就館見学。ゼンセン本部の見学後、演習「組合員の組合参加の課題とその解決方法」をグループ討議。三日目は、演習の発表。最後に「労働組合が政治・選挙に取り組む理由と公職選挙法の

基礎知識」を受講。質問も活発に行われ、さらに二晩とも知識と懇親を深めました。

-----「人間の尊厳、進歩と発達のために」-----

発行：友愛労働歴史館

責任者：藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL03-3453-5386

Eメール yuirodorekishikan@rodokaikan.org HP <http://www.yuirodorekishikan.com>

-----惟一館から 131 年、友愛から 113 年-----